

【抄 録】

『現在の技工から未来の技工へ ～デジタル時代の技工を考察する～』

日技認定講師

株式会社前川デンタルラボ **前川 泰一**
(京都府歯科技工士会)

歯科技工のデジタルの波は止まることを知らず、歯科業界自体がデジタル無しでは語れない程に変化した。

これからも更に加速していくことは過去からの流れで明白である。

学生の前で歯科技工士について話をする事もあるが、明らかに話す内容が変わってきているのを感じる。

自分自身、保険技工しかやっていた時代もあり、昔を振り返ると環境が明らかに変わってきている。

自身の経験をもとに、変化するこれからの歯科技工についてお話できればと考えています。

【抄 録】

『アナログの知識や経験でデジタルを使う』

日技認定講師

株式会社前川デンタルラボ **前川 泰一**
(京都府歯科技工士会)

デジタルは確かに今までとは違う技工作業であり、取り入れにくい面もあると思う。

しかし、上手く使えば私達の仕事を手助けしてくれる重要なアイテムだと考えている。

私は「デジタルは若い歯科技工士の仕事」と考えるのは間違いだと思っていて、経験のある歯科技工士がその知識を持って使いこなす事で、より良い補綴装置が製作でき便利な道具になると考えている。

これからのデジタル技工時代に対応する上で抑えておきたい事や考え方を簡単な症例を使い説明させていただければと考えている。